

2026年度 第1四半期決算説明会

- 外部環境変化への対応とYX2026の進捗 -

2026年5月15日

横浜ゴム株式会社

代表取締役社長兼COO

清宮眞二

- 0. エグゼクティブサマリー
- 1. 2026年度 1Q（1－3月）実績
- 2. 中東情勢の影響と対応
- 3. 2026年度 年間計画
- 4. YX2026の進捗

2026年度 第1四半期 実績

- 売上収益・事業利益ともに**過去最高更新**
- タイヤ（OHT除く）：**欧州・日本・インドが牽引** / OHT：**前年比2桁増**

中東情勢 への対応

- コスト増は**価格適正化・追加コストダウン施策・為替差（期初公表比）**で吸収
- 原材料調達は**現時点で影響は限定的**

2026年度 年間見通し

- 売上収益・事業利益は**期初計画達成見込み**、旧イスラエル工場敷地売却益により**営業利益・当期利益を上方修正**

YX2026 進捗

- セーラム工場閉鎖：**2026年度および2027年度以降の事業利益改善**を見込む
- 旧イスラエル工場敷地売却：2Qに**約300億円の売却益**を計上予定

- 0. エグゼクティブサマリー
- 1. 2026年度1Q（1－3月）実績**
- 2. 中東情勢の影響と対応
- 3. 2026年度 年間計画
- 4. YX2026の進捗

1-1. 2026年度 1Q（1-3月）実績



2026年度 1Q（1-3月）実績

単位（億円）	2026年度1Q	2025年度1Q	増減	増減率
売上収益	過去最高 3,038	2,751	+287	+10.4%
PPA償却前 事業利益	過去最高 481	300	+181	+60.4%
（利益率）	過去最高 (15.8%)	(10.9%)	(+4.9%)	
事業利益	過去最高 444	241	+204	+84.6%
（利益率）	過去最高 (14.6%)	(8.7%)	(+5.9%)	
営業利益	260	193	+67	+34.5%
（利益率）	(8.6%)	(7.0%)	(+1.6%)	
当期利益	147	85	+62	+72.6%

1-2. 2026年度 1Q (1-3月) 実績 タイヤ事業販売実績推移



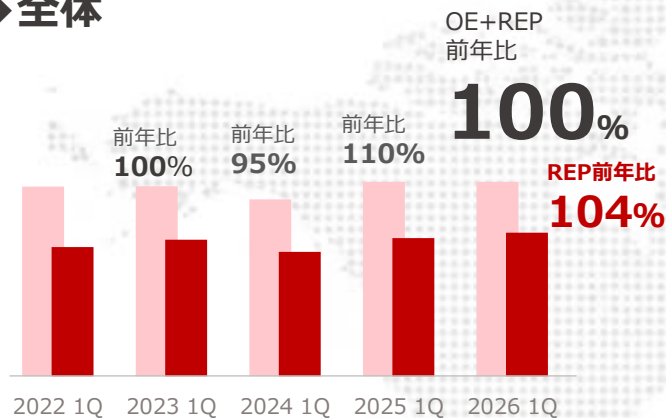
タイヤ事業：販売実績推移

(OHT事業除く)

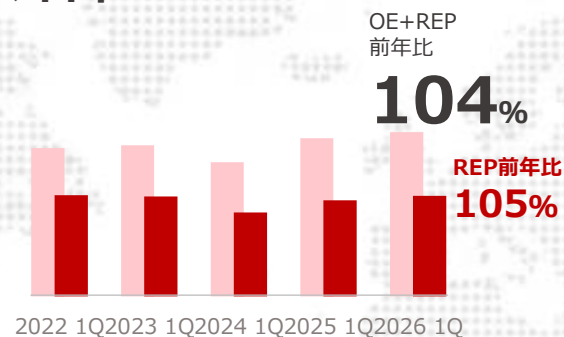
■：タイヤ事業（OHT事業除く）OE・REP合計販売本数

■：タイヤ事業（OHT事業除く）REP販売本数

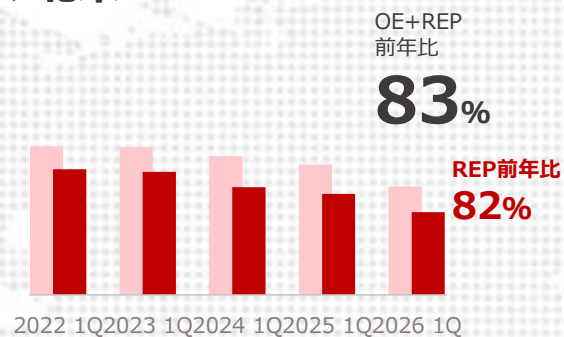
◆全体



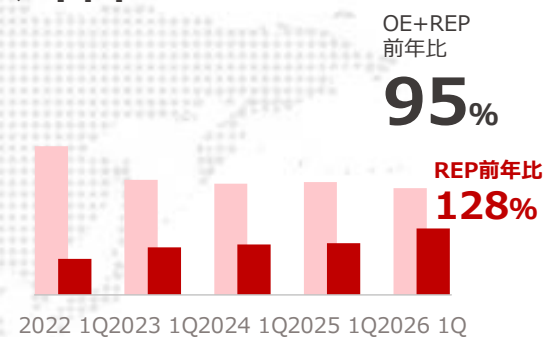
◆日本



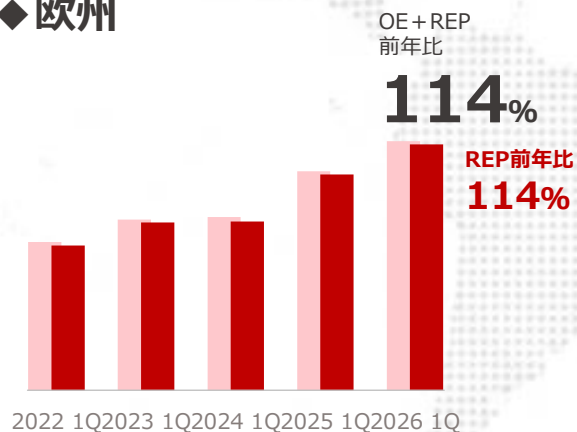
◆北米



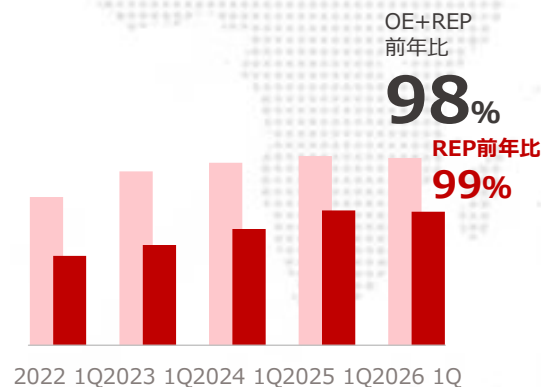
◆中国



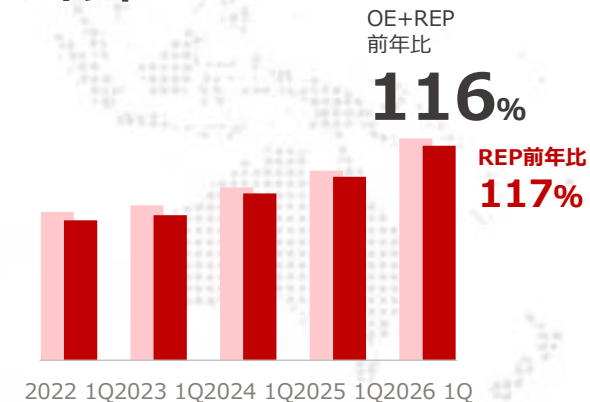
◆欧州



◆アジア



◆インド

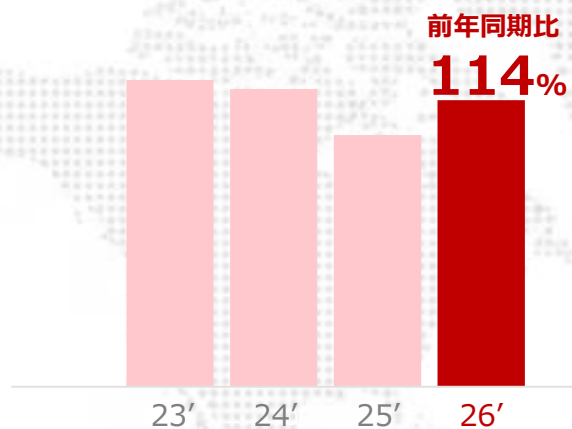


1-3. 2026年度 1Q (1-3月) 実績 OHT農機タイヤ販売実績推移

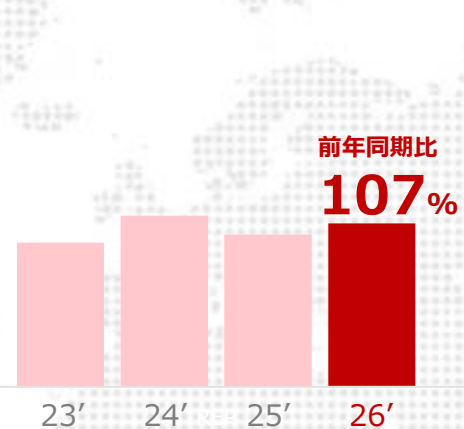


農機用タイヤ販売実績推移 (※重量ベース)

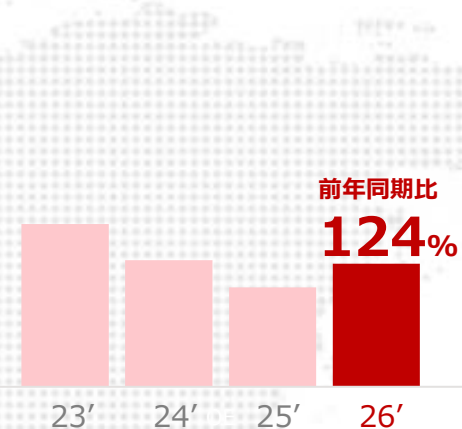
◆OE+REP合計



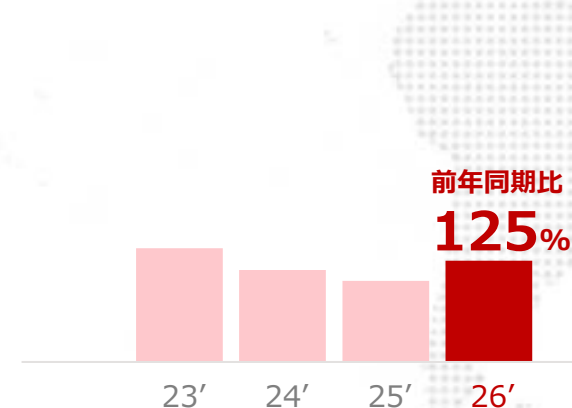
◆REP



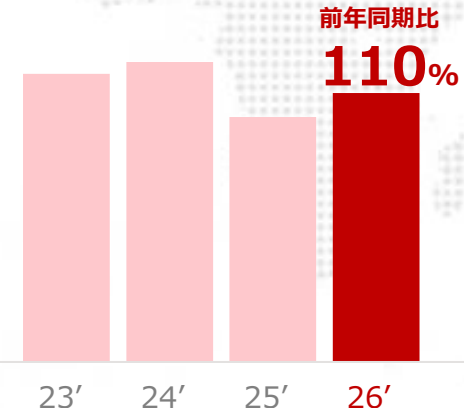
◆OE



◆Americas



◆EMEA



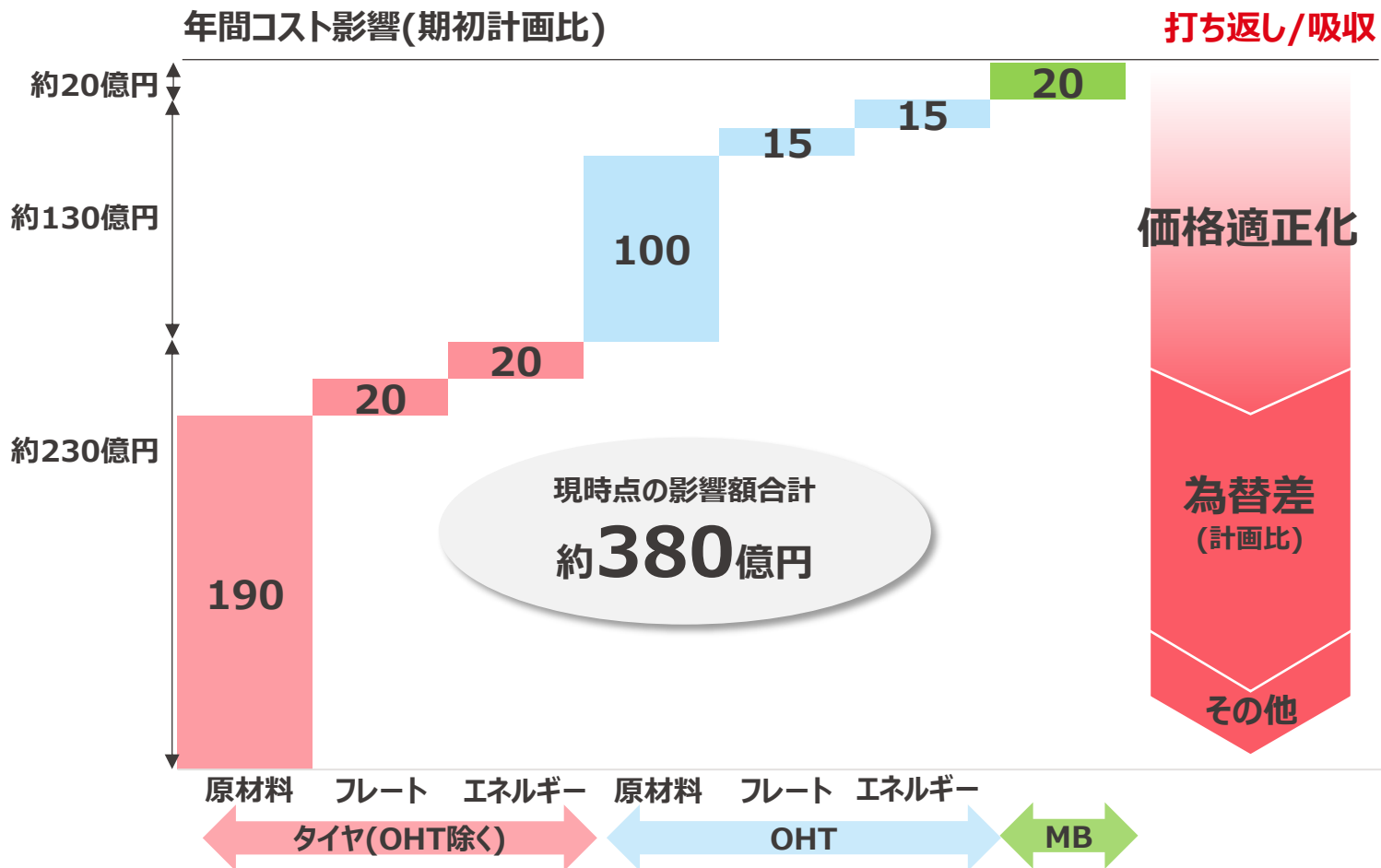
◆APAC



- 0. エグゼクティブサマリー
- 1. 2026年度 1Q（1－3月）実績
- 2. 中東情勢の影響と対応**
- 3. 2026年度 年間計画
- 4. YX2026の進捗

原材料価格等高騰の影響額と打ち返し

単位：億円



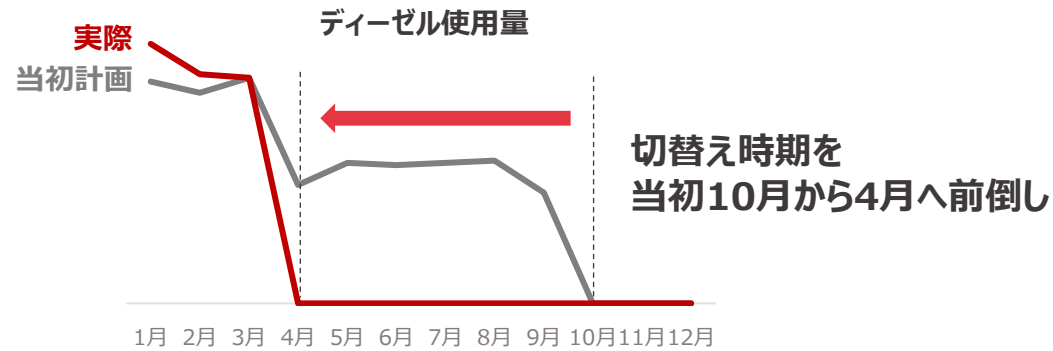
原材料調達と対応

2026年度上期分は確保済み、現時点での調達リスクは限定的

中東情勢影響を最小化

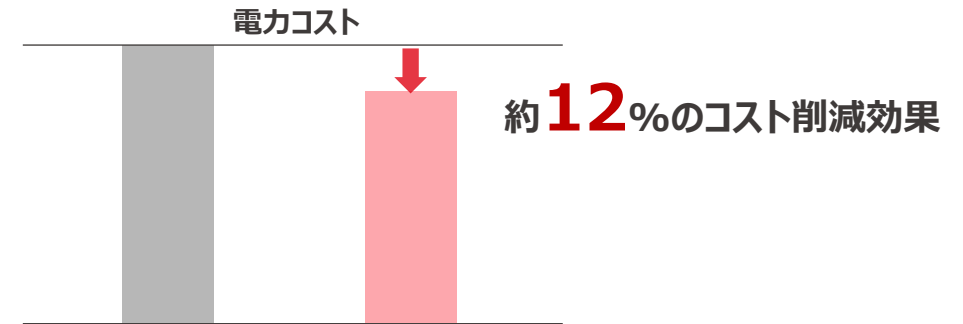
2-2. 中東情勢の影響と対応 エネルギーコスト削減の取組み

フィリピン工場 (PCR)



UPS(無停電電源装置)を導入
外部電源へ早期切り替え

タイ工場 (PCR/TBR)



太陽光発電システムの本格稼働予定

省エネ投資を前倒し

- 0. エグゼクティブサマリー
- 1. 2026年度 1Q（1－3月）実績
- 2. 中東情勢の影響と対応
- 3. 2026年度 年間計画**
- 4. YX2026の進捗

3. 2026年度 年間計画



年間計画

単位 (億円)	2026年度 計画	期初公表	増減	2025年度 実績	増減
売上収益	過去最高 13,000	13,000	-	12,350	+5.3%
PPA償却前 事業利益	過去最高 2,014	2,014	-	1,839	+9.5%
(利益率)	過去最高 (15.5%)	(15.5%)	(-)	(14.9%)	(+0.6%)
事業利益	過去最高 1,880	1,880	-	1,666	+12.9%
(利益率)	過去最高 (14.5%)	(14.5%)	(-)	(13.5%)	(+1.0%)
営業利益	過去最高 1,915	1,730	+185	1,529	+25.2%
(利益率)	過去最高 (14.7%)	(13.3%)	(+1.4%)	(12.4%)	(+2.3%)
当期利益	過去最高 1,090	900	+190	1,054	+3.4%

上方修正

- 0. エグゼクティブサマリー
- 1. 2026年度 1Q（1－3月）実績
- 2. 中東情勢の影響と対応
- 3. 2026年度 年間計画
- 4. YX2026の進捗**

4-1. YX2026進捗 タイヤ事業 生産体制強化



新工場の進捗

中国新工場



量産開始 2026年3月
(当初6月から前倒し)

中国国内向けのほか、
アジア・日本にも輸出を想定

中国研究開発センター新設 (5月)



研究開発から生産、販売まで現地で完結

研究開発 → 生産 → 販売

市場への対応スピードを向上

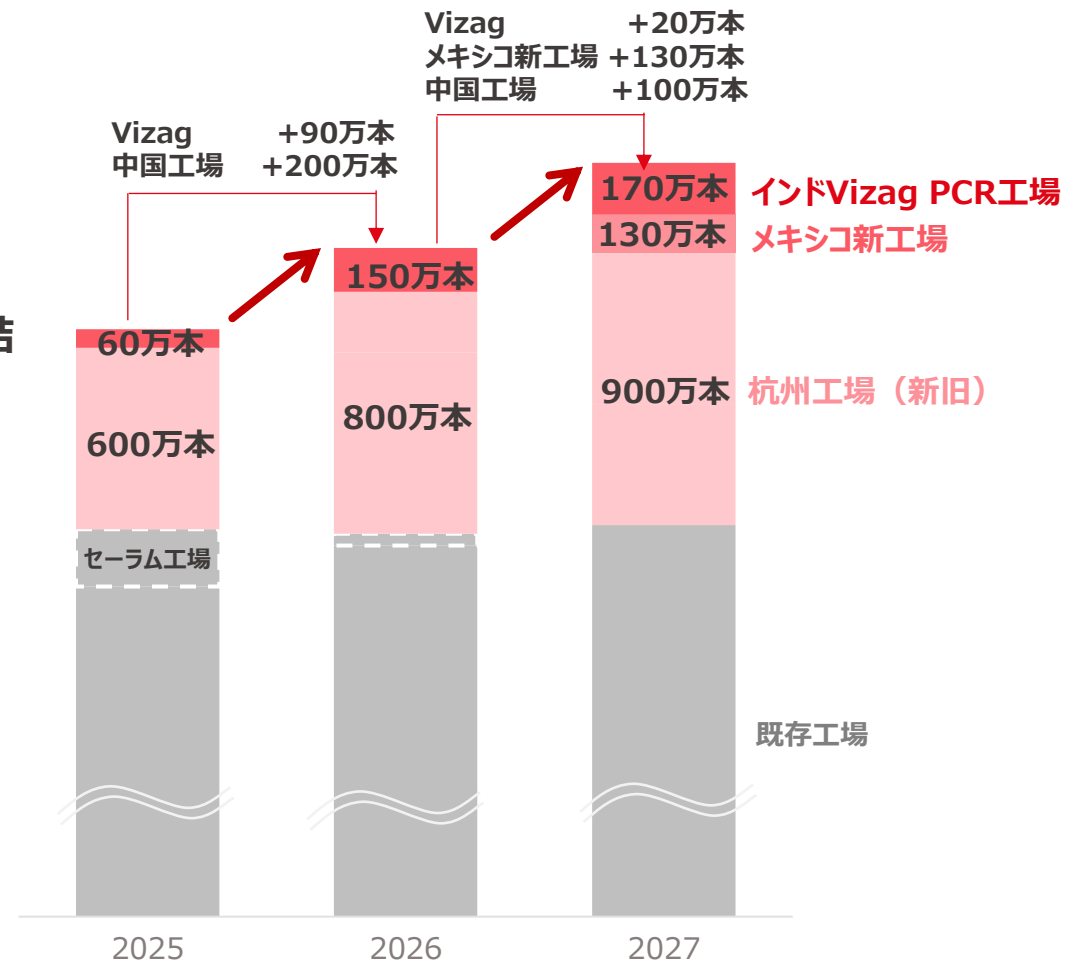
メキシコ新工場



量産開始2027年1月
(計画通り進捗)

北米向け (GEOLANDAR等)

今後の生産量の拡大

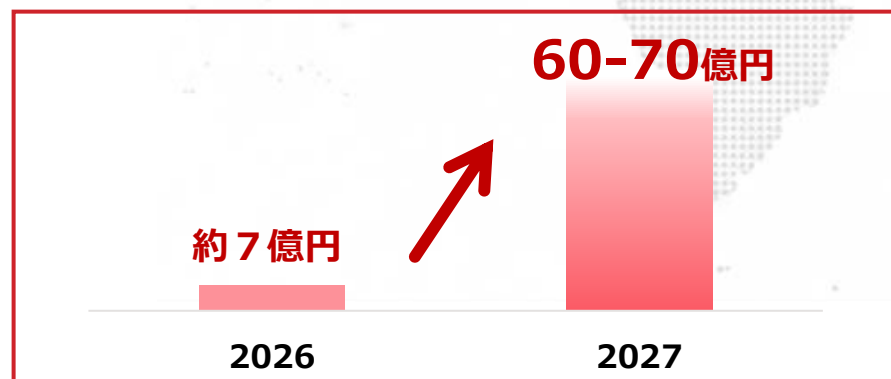


セーラム工場の閉鎖

- 財務影響
一時費用 **約160億円** (2026年度)



事業利益改善 (コストダウン) 効果 (年間)



旧イスラエル工場敷地の売却

- 財務影響
売却益 **約300億円** (2026年度)

● YX2026 累計資産売却金額

